

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4年前期	4	1	必修
担当教員			
電気電子工学科教員			
添付ファイル			

講義概要	種々の専門分野の科学・技術文献（例えば外国語で書かれた雑誌や書籍）をテキストとして輪読を行ったり、あるいは自分が講師になって発表したりして、先端の学術を理解するのに必要な読解力を養うことを目的としている。またそれらの内容をまとめて発表する訓練を行う。
授業計画	1 各卒業研究のグループに分かれて、卒業研究担当の教員の指示に基づき実施する。このため、セミナーの進め方や、テキストは卒業研究担当の教員によって異なる。卒業研究に関連した内容について指導教員の指示に基づき個別の内容が決定される。 AL①は14回実施する。
授業形態	輪読や文献紹介などで割り当てられた分担を学生が相互に発表しあうなどの形態で実施する。 アクティブラーニング：①:14回, ②:0回, ③:0回, ④:0回, ⑤:0回, ⑥:0回
達成目標	卒業研究を進めていく上で、あるいは社会に出てから必要とされる文献の読解ができる。
評価方法・フィードバック	課題に対する成果、発表状況、理解度などを総合的に評価する。なお、やむを得ず出席をレポート提出によって代替する場合もある。原則として、課題等のフィードバックは次回以降の授業内やWEB等を通じて行うが、具体的な方法・タイミングなどは指導教員より都度伝える
評価基準	1) 「合格」：卒業研究を進めていく上で、あるいは社会に出てから必要とされる文献の読解ができる 2) 「不合格」：上記基準を満たさないもの
教科書・参考書	各卒業研究のグループに分かれて、卒業研究担当の教員が実施する。対象となる文献は卒業研究に関連するもの指導教員の指示によって個別に決められる。
履修条件	なし
履修上の注意	「セミナー」においては学生が自ら学ぶ態度が特に重要である。まず英文などの文章を理解する必要がある。しかしながら学術的内容の理解に努めることが要求される。例えば英文の場合で言えば単なる英文和訳であっても意味がない。この意味で、セミナーへの出席は勿論のこと、予習と復習は重要である。また、自分の調べた内容を他人に理解して貰えるように発表する努力が大切である。各自の発表に対して積極的に質疑や討論を交わし、切磋琢磨することを身に付けてもらいたい。
準備学習と課題の内容	研究に取り組む者として、2時間以上の準備は必要である。
ディプロマポリシーとの関連割合(必須)	知識・理解:20%, 思考・判断:20%, 関心・意欲:20%, 態度:20%, 技能・表現:20%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	